

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 東洋シート

(2) 事業所の所在地

〒736-0002 広島県安芸郡海田町国信1-6-25

(3) 業種

自動車部品付属品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和元年度から令和5年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、製品の開発・設計から製造販売に至る当社の事業活動の中で、環境への負荷軽減に取り組みます。特に、地球温暖化防止につきましては、その重要性を認識し、温室効果ガスの排出削減に努めてまいります。

2. 方針

環境に配慮した製品の開発・設計及び生産活動の中で、特に次の事項について重点的に取り組みます。

- 1) 天然資源の枯渇を防ぐ為の省エネ、省資源化の推進
- 2) 生産設備などの管理徹底による汚染の防止
- 3) 廃棄物・排出物の削減・リサイクル

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成30年度	直近年度 平成30年度
二酸化炭素	4778	4778

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成30年度	直近年度 平成30年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度 平成30年度	直近年度 平成30年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (令和 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
その他 温室効果ガス				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量(千台)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成30年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和5年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4778	372	12.84	5	4636	380	12.2
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	1,832	372	4.925	5	1,778	380	4.678
目標設定の考え方	近年原単位の良い平成30年を基準として、5年後までに5%削減する						

※ 削減率 (d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原単位5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ボイラーへ更新、燃料変更 ・ボイラーの小型化と適正位置配置 ・上記による配管ロス削減
2	電気使用量の削減	原単位5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・省エネ照明器具へ交換 ・インバーター機器の導入 ・低損失受電トランスへ交換 ・新規生産設備の低電力設計
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

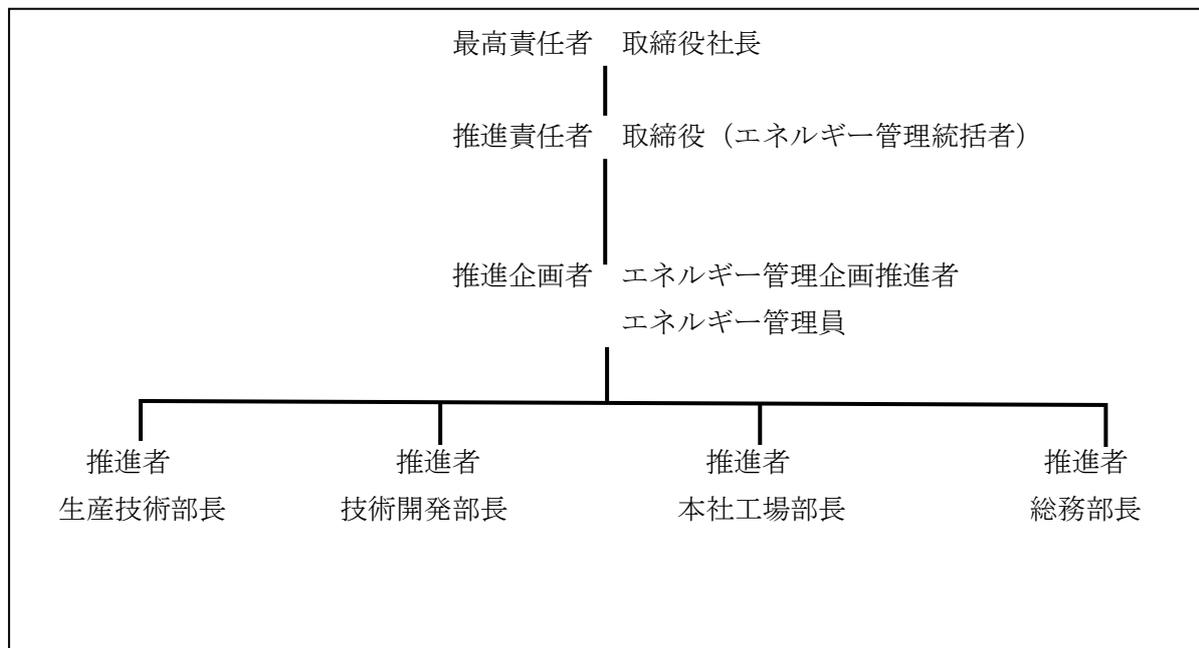
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・ 経営企画部より計画される、環境計画書を基に、各部で活動を行う。
その結果は、毎月報告し、達成状況、今後の活動についてトップレビューを受ける。
- ・ 活動状況については、社内LAN上共有フォルダにて公開している。

(3) 計画書等の公表

- ・ 事務所に備え付け観覧する。

事業所位置図

